

産肉性と強健性に優れた新ランドレース種系統豚の造成

平成5年に開始したランドレース種の系統造成は7世代の選抜を実施し平成12年に完了した。産肉性においては、国内系統豚においてトップクラス的能力を持ち、併せて肢蹄の強健性が改良された「飼いやすい」新系統豚が造成された。

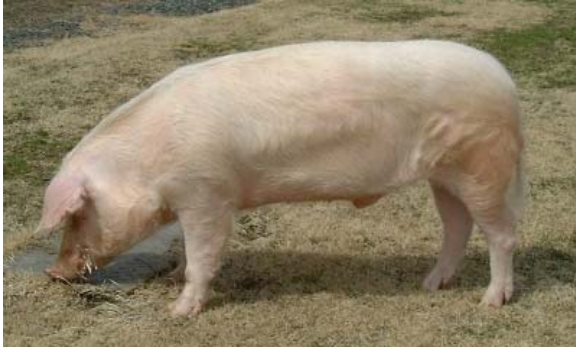


写真1 新系統豚 ()

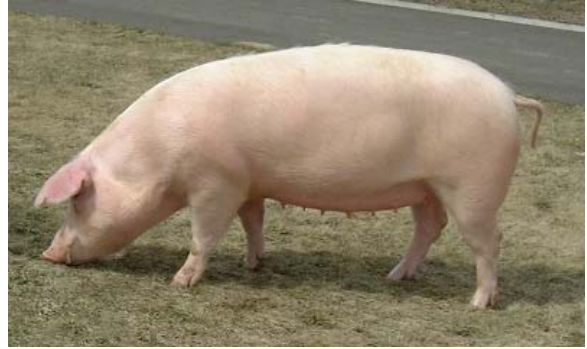


写真2 新系統豚 ()

表1 産肉能力の概要

選抜形質	D G	B F 1	B F 2	E M
遺伝的改良量	+53.4 g	-0.66cm	-0.59cm	+3.28cm ²
G 7 表型値	938.8 g	4.38cm	2.87cm	40.3cm ²

注) 遺伝的改良量は、基礎世代を0として算出。G 7 表型値は、育成雄・雌の平均値。

D G (30~90kgの1日平均増体重)

B F 1 (体長1/2及び±10cmの背脂肪厚合計)

B F 2 (最後肋骨の正中線より下方6、8、10cmの背脂肪厚合計)

E M (体長1/2部位ロース断面積)

表2 歩様スコアの世代推移

世代	1	2	3	4	5	
G 3	2.0	13.7	43.1	31.4	9.8	%
G 4	2.3	16.3	37.2	30.2	14.0	
G 5	2.1	12.8	12.8	34.0	38.3	
G 7	3.9	2.0	15.7	19.6	58.8	

世代から肢蹄の形状および歩様について観察しスコア化して、スコアの良いものを選抜した。その結果歩様の良い個体(スコア4、5)の割合が41.3%から82.3%へ上昇した。

表3 他系統との能力比較

系統名	造成場所	完了年	D G (g)	B F (cm)	E M (cm ²)
新系統	岩手県	H 1 7	938.8	1.46	40.3
イワテハヤチネ	岩手県	S 5 4	785.0	1.91	
ゼンノーL	全農	H 7	843.0	1.91	33.2
ローズL-2	茨城県	H 5	841.9	1.92	33.4
アキタL	秋田県	H 2	807.5	1.87	34.5
ハマナス	北海道	H 3	724.0	1.20	
ミヤギノ	宮城県	H 2	795.8	1.74	33.2

現在までに造成された主なランドレース種系統豚に比較して、表型値においてはD G、E Mが特に優れており、現在までに国内で造成された系統豚の中で一番高い成績である。